特

## 認知症になっても

### 安心して暮らせるまちへ

誰もがなる可能性のある認知症。鳥取市では認知症になっても誰もが住み慣れた地域 で安心して暮らし続けることができるよう、認知症の当事者や家族の視点を重視したさ まざまな取り組みを展開しています。

問い合わせ先 駅南庁舎長寿社会課 60857-20-3453 **80857-20-3404** 

#### 認知症当事者によるピアカウンセリング 「おれんじドアとっとり」

当事者同士の出会いを大切にし、本人にとって良い情報を伝え合い、認知症とともに新たな暮らしをスタートできる入り口となる場所として「おれんじドアとっとり」を今年4月から開設してい ます。認知症になっても、諦めることなく自分らしい暮らしを実現していけるように、早い段階で 仲間と出会い、共に歩んでいきましょう。

日 毎月第4木曜日、13:30~15:30

渡辺病院(東町三丁目) 3階ソーシャルクラブ室

実施主体 主催:鳥取市、協力:渡辺病院(鳥取県東部認知症疾患医療センター)

対 象 者 認知症と診断された人または認知機能の低下が気になる人

相談員 認知症の本人相談員と認知症地域支援推進員、精神保健福祉士、保健師など

本人相談員 藤田和子さん

私自身も初めは落ち込み、悲しんだ時期もあります。けれども諦めず、 自分に認知症があることや自分の思いを周囲に話し続け、味方になっ てくれる人たちに出会うことができています。そして、暮らしの中で できにくくなった事には知恵や工夫を重ねて生活しています。

誰もが認知症になると、または認知症かも?と感じると、不安にな り希望を持って楽しく暮らすことができないと考えてしまいます。

そんな時は「おれんじドアとっとり」を訪ねてきてください。

若年性認知症の支援

一足先に認知症とともに暮らしを創っている人がいます。何気ない 日常のことを語り合いながら、認知症とともに暮らす希望を見つけて いきましょう!

#### ~相談の申し込み・お問い合わせ~

社会福祉法人地域でくらす会いくのさん家 (鳥取市認知症地域支援推進員設置事業受託事業者) 鳥取市吉方温泉一丁目 252 番地 1 60857-30-7881

リング「おれんごヾ,知症の当事者によるピアカウンセ人ミーティングの開催支援や、認 人ミーティングの開催支援や、認認知症の当事者同士が語り合う本 援に総合的に取り組んで 性認知症を含む認知症の当事者支 早期に相談できたり 大切なこととなります。 らしを続けていくうえで何よりも たりすることは、 もし、誰にも話せず症状にお悩 当事者は仕事や子育てなどに を開設するなどして、 その人らしい暮 認知症につい 仲間と出会え 本市では、 とり」 ます。



認知症相談・安心ガイドブック



小学校での認知症サポーター養成講座の

や交流を深める「認知症カフェ」立ち寄って認知症についての理解知症の人や地域住民などが気軽に

の設置を推進しています。

また、

推進員」を配置するとともに、認構築などを行う「認知症地域支援

からの相談や地域の支援体制

ことが大切です。そのため、本市では認知症フォーラムなどの講演では認知症フォーラムなどの講演をが、「認知症の提供に努めています。また、「認知症サポーター」の養成た、「認知症フォーラムなどの講演とが大切です。そのため、本市 症の人が安心して外出できるよ 築を進めています。さらに、 認知症の人が暮らしやすいまち 理解を深る ついて 認知 める 7 0 が心配される人を市に事前に登録認知症により行方不明になること 動につなげる「認知症高齢者等安 関と情報を共有し、 しておくことで、

取り組んでいます。 の充実の充実

一登録事業」

の普及などに



で支え合う体制づくり知症への理解を深め!

認知症高齢者等ご近所見守り 応援団協力店ステッカー

# 本市では、認知症の 人やその家

階で包括的・集中的に関わることその家族に対し、認知症の初期段員がチームとなり、認知症の人や 充実させています。 スや相談機関などを分かりやすく の状態に応じて受けられるサービ 症初期集中支援チ で適切な支援に結びつける 本市では、医療・ また、認知症のつける「認知

市内9ヵ所に設置している認知症カフェ

型り組んでいます。 取り組んでいます。 接員」を派遣するなど、介護者の 援員」を派遣するなど、介護者の

警察署や関係機

迅速な捜索活